

2024年度(令和6年度) 看護部クリニカルラダー研修 研修内容および講師一覧(予定)

※(e)緑:e-ラーニング (Fac):ファシリテータ 青:講師未定

2024/7/16

No.	項目	研修名	学習内容	講師	
共通	看護研究	看護研究①	・看護研究の意義と方法の基礎 ・看護研究における倫理 ・看護研究のまとめ方	田辺有理子先生 (横浜市立大学)	
	看護研究	看護研究②	・研究計画書の意義 ・文献検索の意義と方法		
	看護研究	看護研究③	・個別コンサルテーション		
	看護研究	看護研究④	・個別コンサルテーション		
	看護研究(e)	看護研究⑤ 看護研究⑤ 研究成果を発表するⅡ ～パワーポイントを活用する～ (BBS2413)(60分)	・看護研究成果を発表する意義(BBS2413-a) ・パワーポイント作成の実際(BBS2413-b) ・パワーポイントを用いた院内発表・学会発表の実際(BBS2413-c) ・示談(ポスター)発表準備と一般的なマナー(BBS2413-d)		
	看護研究	看護研究⑥ 予演会	・発表に対する準備、予行演習	クリニカルラダー管理 運営委員会	
	看護研究	看護研究発表会			
	看護理論	セルフケア理論の理解 (90分)	・理論の成り立ちと概要、必要性 ・自己決定の概念と普遍的セルフケア要件 ・セルフケアレベルの意味と看護	小林信先生 (東京医科大学)	
	対象理解	こころの理解(90分)	・フロイトの概念(心的装置、心的機能) ・口唇期/肛門期/男根期とコンプレックス	小林信先生 (東京医科大学)	
	対象理解	防衛機制(90分)	・防衛機種の種類 ・転移、逆転移 他		
	精神科に 必要な知識	摂食・嚥下(90分)	・嚥下に関するメカニズムと嚥下障害の概念と疾患 ・嚥下リハビリテーションの実際と看護	船橋庄司先生 (にじの丘 言語聴覚士)	
	看護技術	BLSと急変対応 2年目必須	・疾患による観察のポイント、急変時への対応(BLS) ・包括的なアセスメントと診断	鈴木好先生 他1名 (小田原市立病院)	
	精神科に 必要な知識	精神科身体合併症 看護(90分)	・精神症状と身体症状の相関関係 ・医療者の陥る側面と具体的な早期発見方法と予防の必要性	片平真吾先生 (齊藤病院)	
	精神科に 必要な知識	統合失調症患者のケア(120分)	・統合失調症に対する診断および治療、動向、国の施策 ・統合失調症に対する基本的看護	山口医師 磯谷朋樹CEPN	
	精神科に 必要な知識	認知症患者のケア(120分)	・認知症に対する診断および治療、動向、国の施策 ・各認知症の症状と基本的看護 ・カンフォータブル・ケア	早川医師 矢田弓子CEPN	
	精神科に 必要な知識 (e)	気分障がい患 者のケア	気分障がい患者のケア (60分)	・気分障害に対する診断および治療、動向、国の施策 ・認知行動療法の視点からのかかわり方 ・自殺について	山口医師
			精神科看護師に求められる うつ病看護の実践力 (AP2411)(60分) 9月配信	・知っておきたいうつ病の病態(AP2411-a) ・うつ病における精神状態のアセスメント(AP2411-b) ・知っておくべきうつ病の看護実践ポイント(AP2411-c)又はWorkへ変更	磯谷朋樹CEPN(Fac)
	看護技術	フィジカルアセスメント (呼吸器・消化器)	・4つの領域(呼吸・消化器)(循環・中枢神経)に関する知識を習得する ・客観的な根拠のある身体情報を正確に得る方法を学ぶ ・患者の訴えや呈している症状をアセスメントし、状況を判断できる	鈴木好先生 他1名 (小田原市立病院)	
	精神科に 必要な知識 (e)(新設)	ストレングス	リカバリーに向けたストレング スの活用(AP2407) (45分+45分) 7月配信	・ストレングスの基礎知識(AP2407-a) ・ストレングスに着目したサポートのあり方(AP2407-b) ・ストレングスを活用した有効なクライシスプランを立てるために(AP2407-c)	瀬戸秀紀(Fac)
	医療安全(e) (新設)	虐待防止	虐待につなげない！精神看 護ケアのあり方 (AP2410) (45分+45分)8月配信	・なぜ虐待は起きてしまうのか(AP2410-a) ・改正法にみる虐待防止に向けた体制づくりの必要性(AP2410-b) ・虐待の芽を摘む組織文化の醸成に向けて(AP2410-c)	医療安全委員会 管理者またはレベルⅢ (Fac)
	医療安全(e) (新設)	転倒転落 防止	転倒・転落予防から考える 患者安全(AA2408) (60分+30分)	・転倒・転落発生のメカニズムと予防の重要性(AA2408-a) ・転倒・転落のリスクアセスメント(AA2408-b) ・転倒・転落の要因に対する対策の考え方(AA2408-c) ・実例でみる転倒・転落予防対策(AA2408-d)	医療安全委員会 管理者またはレベルⅢ (Fac)
	災害看護	災害看護(90分)	・曾我病院における災害時の対応	阿部看護副部長	
	トピックス 研修	こころの日記念講演			
	外部研修 参加報告会	外部研修 参加報告会	・部署ごとに開催(1部署2回開催/年)開催日程別紙で告知 ・外部研修参加者を選出し、実践内容、経過報告等を含め発表 ディスカッションの場とし、取り組みや成果をも含めた情報共有の場とする	各部署管理者	
看護管理 実践報告会	看護管理 実践報告会	・看護管理課題の抽出・分析・実践・経過・結果(成果)に対し、年間を通して取り組 んだ結果を発表する	クリニカルラダー管理 運営委員会		
レベル Ⅰ	看護技術	精神科における急変対応	・精神科で起こりやすい事故の対応(自殺、転倒、暴力など) ・ドクターコール(日勤、夜勤)の連絡方法	看護主任	
	看護技術	見取り期のケア	・死を迎えた患者家族への接し方、尊ぶこころ ・OJTによるエンゼルケアの流れと手技と霊安室の使用法	教育担当責任者 WEB	
	精神科に 必要な知識	行動制限最小化看護	・行動制限最小化の法的理解と人権擁護 ・行動制限を最小化する必要性と看護の役割	早瀬部長	
	精神科に 必要な知識	精神保健福祉法	・精神保健福祉法の理解と行動制限の基本	早瀬部長	
	看護倫理	看護倫理	・基本的人権と精神医療の歴史から患者の人権を守ることと 精神科病院における倫理問題 ・精神科病院における看護師の役割(人権擁護の観点)	山口科長 山崎主任(倫理委員)	
	チーム医療	チーム医療	・チーム医療とは(チーム医療の実際) ・職場内における同僚および多職種との協働の必要性	田坂科長	
	看護記録 看護計画	看護記録 看護計画	・フォーカスチャーターティングとは ・看護記録及び看護計画の立案、評価の入力方法	看護主任	
	看護過程	セルフケア理論における 看護過程の展開①②	・セルフケア理論に沿って看護過程の展開 ・事例を用いた模擬展開	看護主任会	
	リーダー研修	リーダーシップ 基礎	・リーダーとは(概念、役割、組織の理解) ・初心者看護師に求められるリーダーシップと看護業務において リーダーが果たすべきこと	早瀬部長	

		地域での看護	精神科外来看護	<ul style="list-style-type: none"> 精神医療の動向にあわせた外来看護の役割(院内外連携を含む) 地域で生活している当事者の支援と外来看護師に期待される役割 外来を見学し、通院する患者を知ることができる 	山口科長
--	--	--------	---------	--	------

レベル	No.	項目	研修名	学習内容	講師
レベルⅡ	1	精神科に必要な知識	必要な制度と社会資源(90分)	<ul style="list-style-type: none"> 精神障がい者および認知症患者における制度と社会資源 PSWの業務、効果的な医師・看護師との連携 	岩田 貴史 (精神保健福祉士)
			Work(45分)	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションワーク(退院支援に必要な社会資源をどのように活用するのか実際に計画を立てる) 	渡辺科長(Fac)
	2	精神科に必要な知識	行動制限最小化看護(e)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の現状と課題(AP2403-a) ・行動制限最小化を目指す意義(AP2403-b) ・身体拘束回避の方法(AP2403-c) ・身体拘束最小化の実践(AP2403-d) 	主任(Fac)
	3	精神科に必要な知識	精神障がい者の家族理解と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者の家族の背景、心理の理解、特性 ・家族によるセルフヘルプグループ(家族会)の重要性 	馬場彩世(公認心理師) (家族会スタッフ内藤Ns)
	4	地域移行支援	地域移行支援(e)	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科看護における自己決定支援をふまえた地域連携(AP2409) ・地域をつなげる多職種連携に必要な相互理解(AP2409-b) ・自己決定支援に必要な地域特性の理解(AP2409-c) ・精神科看護に役立つ地域特性の分析方法(AP2409-d) 	府川科長(Fac)
	5	精神科治療	薬物療法	<ul style="list-style-type: none"> ・抗精神病薬の歴史、作用機序 ・非定型抗精神病薬・抗うつ薬・気分安定薬・抗不安薬・睡眠薬・抗認知症薬の作用と副作用 	宮地医師
	6	精神科に必要な知識	薬物療法の看護(e)	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬指導における精神科看護師のかかわり方(AP2405-a) ・症状の安定はかる薬物療法(AP2405-b) ・当事者の安全を守る服薬支援(AP2405-c) 	磯谷朋樹CEPN (Fac)
	7	精神科に必要な知識	精神療法	<ul style="list-style-type: none"> ・精神療法の概念と特徴、対象となる疾患 ・精神療法の分類、治療効果、治療目標 	山口医師
	8	精神科に必要な知識	作業療法	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士の役割と精神科リハビリテーションの概念と意義 ・患者の自立と意欲の引き出し方法 	沼田作業療法士
	9	精神科に必要な知識	心理検査	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士の役割と心理検査の手順、種類 ・心理検査の実際から検査を受ける患者の思いを知る ・検査の有効性と検査が与える診断への効果 	米倉亜紀子 (公認心理師)
	10	精神科に必要な知識	集団精神療法	<ul style="list-style-type: none"> ・集団精神療法の概念と特徴、対象となる疾患 ・集団精神療法の治療効果、治療目標 ・集団精神療法を体験し患者の思いを知る 	米倉亜紀子 (公認心理師)
	11	看護倫理	看護倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科医療で生じやすい倫理的問題(スタッフの側面) ・具体的に解決する手法 	山口科長/山本Ns(倫理委員/レベルⅢ)
12	チーム医療	チーム医療(e)	メンバーシップ・フォローシップ～みんなで作る働きやすい看護チーム～(ALA2453)(43分)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護チームを形成していくために求められる個々のあり方とスキル ・看護チームを円滑にし看護としての役割意識を高めるためには 	長岡科長(Fac)
			基礎からわかるチーム医療(FA2401)(20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療を円滑に進めていくために:環境編(FA2401-b) ・チーム医療を円滑に進めていくために:心がまえ編(FA2401-c) 	
レベルⅡ・Ⅲ		事例検討	セルフケア理論(事例に沿った理論理解)	<ul style="list-style-type: none"> ・理論を軸にした事例レポート作成・問題/課題の理由と患者理解の検討 	看護主任
		事例検討	事例検討①～⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討 	看護主任
レベルⅢ	精神科に必要な知識(e)	行動制限最小化(e)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例からひも解く身体拘束の最小化(AP2453)(45分+45分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を通して、身体拘束について倫理的側面、人権尊重の側面からその必要性や方法を考えることができる ・事例を通して身体拘束最小化を踏まえた看護的介入を考えることができる 	主任(Fac)
		ファシリテータポイント	e-ラーニング(1～3研修選択制)	<ul style="list-style-type: none"> ・e-ラーニング(指定内)より1～3研修選択し受講(院内研修枠) ・ラダー目標に沿って選定し、学びの実践の可視化(媒体は選択)をする 	レベルⅢ
レベルⅡ・Ⅲ・Ⅳ(Ⅲ選択制)	自己理解	プロセスレコードとは	<ul style="list-style-type: none"> ・プロセスレコードの意義 ・プロセスレコードを記載、検討するときのルール ・検討の方法の提示 	指導者企画委員会(レベルⅢ)	
		プロセスレコード検討①～⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のプロセスレコードによる検討 ・自己が陥りやすい傾向の理解 	看護科長・CEPN ジェネラリスト	
レベルⅡ・Ⅲ・Ⅳ	地域社会資源	作業所見学	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野病院作業所見学を行うことで地域社会資源の一つとして、地域移行、地域定着、地域連携を意識した実践に活用することができる 	クリニカルラダー委員引率	
レベルⅢ・Ⅳ(Ⅲ選択制)	看護倫理	看護倫理(事例検討)①～⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する部署に起こり得る倫理的問題を指摘し、主体的に問題に対する対処を提案できる 	看護科長・CEPN ジェネラリスト	
認定看護師	ブラッシュアップ研修	ブラッシュアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師としての看護の質を維持する 	ブラッシュアップ研修(Web・集合研修)	
看護科長(M3) 看護主任(M2) 看護副主任(M1)	看護管理	看護管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会または日本精神科看護協会のいずれかの院外研修の中から1つ選択し、受講する ・看護管理課題・到達目標に沿ったものとし、実践に活用、反映させる 	看護管理にかかわる研修(Web・集合研修)	